

令和8年度茨木市東西軸社会実験等実施支援業務委託 仕様書（案）

この仕様書は、令和8年度茨木市東西軸社会実験等実施支援業務委託について、業務の内容及び受託者が遵守しなければならない仕様を示すものである。

1 業務名

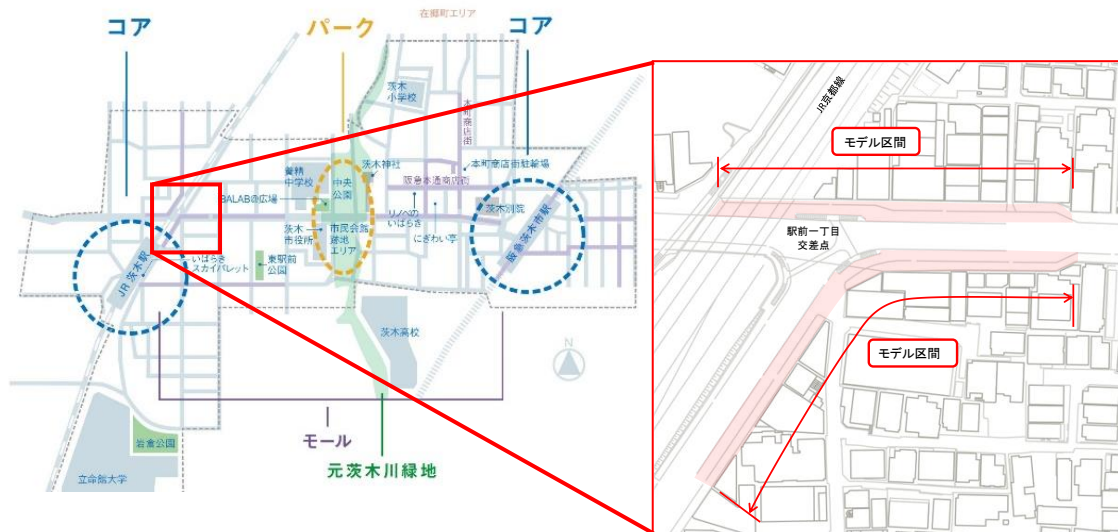
令和8年度茨木市東西軸社会実験等実施支援業務

2 業務目的

令和7年度の取組みを踏まえ、モデル区間（中央通りJR側道部分）において、“ひと中心の歩きやすく歩きたくなるような魅力的な空間”の検討を行い、社会実験を通じて、より多くの主体に将来像を共感してもらうことで、円滑な側道の空間再編につなげていくことを目的とする。

なお、交通状況を検証する社会実験については、令和7年度未実施の中央通り北側の側道（本線部は含まない）で実施を想定している。

モデル区間：茨木市駅前一丁目交差点付近に位置する中央通りの側道部分とする。



3 業務期間

契約締結日から令和9年3月31日まで

4 業務内容

本業務を受託した事業者は、次の業務を行う。

（1）中央通り側道における空間のあり方検討

中央通り側道（本線部との接続を含む）において、空間のあり方を検討し、関係機関との協議調整に必要となる資料作成を行う。さらに実施設計や多様な主体との共有や共感につながる資料作成を行う。

- ① 目指すべき姿の整理・検討・図化（平面図、横断図、パース作成）
- ② 実施に向けた課題の整理
- ③ 課題への対応策の検討（交通運用・道路利活用を踏まえた道路形態、無電柱化、アーケードの処遇を想定、概算工事費 等）

(2) 沿道空間の利活用に向けた機運醸成の取組

これまでの社会実験等を通じて関係を構築した関係者と継続的に意見交換等を行い、日常的、定期的な道路利活用の可能性及びその試行について支援を行う。利活用を試行する場合、「(3) 社会実験の企画・運営」に反映して実施する。

① JR 茨木駅前商店街との話し合いの場の運営支援

② 多様な関係者との共創

※利活用についての共創は、沿道商店街の他、近隣高校を予定

(3) 社会実験の企画、運営

「(1) 中央通り側道における空間のあり方検討」の結果を踏まえ、側道区間の将来像を実現する上で必要な検証を行う目的で社会実験を企画、運営する。実施期間は2回の週末を含む10日間程度とする。

① 社会実験実施計画案の作成

② 関係機関との協議調整支援

《参考：令和7年度の協議先》

関係機関/申請先期間	主な協議/申請内容
茨木土木事務所（関係機関協議）	社会実験の内容に関する協議
茨木警察署/府警本部（関係機関協議）	交通規制に関する協議 安全対策に関する協議
茨木土木事務所（申請）	道路占用許可申請
茨木警察署（申請）	道路使用許可申請
各路線バス会社	バス停仮移設に関する協議

③ 社会実験PRの実施支援

④ 社会実験のための空間設営

⑤ 交通状況の検証と利活用の可能性検証 等

(4) その他の業務

以下の項目については、本市と協議のうえ、必要に応じて実施する。

① 協議打ち合わせ（月1回程度を想定）

② 業務報告書作成

③ 受託者が提案する効果的な事項（独自提案）

※ただし提案限度価格内で実行可能なもので、追加予算を必要としないものに限る。

5 成果品

本業務の成果物として、次のものを提出する。納品にあたっては、市担当者と十分に協議することとし、紙媒体のほか電子データ（CD-R）でも納品すること。

(1) 業務報告書（A4版） 3部

(2) 業務報告書を記録した電子媒体 一式

(3) その他、本業務により作成した資料 一式

6 守秘義務

受注者は、業務遂行により知り得た事項について、いかなる理由があっても他に

漏らしてはならない。特に個人情報保護法については十分理解するとともに、個人データ等の漏洩を防ぐ対策を行うこと。

7 委託料の支払い

本業務の委託料は、全額を業務終了後に支払う。

8 その他遵守事項

- (1) 業務委託の実施にあたっては、関係法令や本市の条例、規則等を遵守すること。
- (2) 本業務により作成した資料一式は、全て委託者に帰属するものとする。
- (3) 本業務は「土木設計業務等の電子納品要領」に基づく電子成果品の対象としない。
- (4) 業務が完了し、又は契約期間が満了した後であっても、内部に不備・不完全な部分が発見された場合は、受託者の負担と責任で直ちに補正すること。
- (5) 本仕様書の記載事項及び本業務遂行上疑義が生じたときは、速やかに市と協議し、本業務に支障のないよう努めなければならない。
- (6) 本仕様書は、本業務の概要を示すものであり、本仕様書に明記が無い事項については、市と協議の上、これを決定する。